

対立、宗教対立、その時代の国際政治の荒波に翻弄され続けたと言える。1925年に採択されたオリンピック憲章の基本理念は政治的、宗教的、人種の中立を原則とし肉体的、精神的発達の促進を図りスポーツを通じ、国際親善や世界平和建設に役立つと規定されているが現実の姿は全く逆の道を歩んできたし、今尚歩んでいる様に男える。私はそこで大胆な提案をしたい。表彰式での国旗掲揚と国歌吹奏を廃止し、オリンピック讃歌の吹奏にすべきと考える。参加方式も国別参加を排し個人参加にする事である。そうする事で金メダル獲得にて生涯生活が保証される制度や、褒賞金制度などもなくなるだろうし、白人支配のオリンピックでの、冬季オリンピックのノルディック複合にみられたような自国選手に有利な様な身勝手なルールの変更や、勝利至上主義からくるスポーツマンシップの微塵だにない酷い試合は消えスポーツの尊厳の為に人類は一つという高邁な理想の為に資すると考える。

#### 第4回理事会

- 開催日時 平成12年10月3日(火) 11:30~12:30  
 開催場所 三条ロイヤルホテル  
 出席者 山崎 五十嵐(茂) 木宮 梨木 石川 佐藤(啓) 丸山 佐藤(義) 山中 外山 小林(満) 米山 長谷川(恵) 出席者13/14名(内委任状1)
- 協議事項
1. ガバナー公式訪問決算報告 承認
  2. ALTミュージカル公演会、後援依頼の件 承認  
次回例会において希望を募り希望者分だけチケット購入
  3. RAC地区大会登録の件 承認
  4. 三条市内小学生弁論大会メダル贈呈の件 承認
  5. ポリオプラス支援依頼の件 承認  
財団のBOXを使う
  6. 羽賀会員子息結婚式の件 承認  
会長、幹事が出席
  7. 坂本会員令嬢(10/15) 小島会員子息(11/26)  
佐藤文夫会員子息(11/26) 山口会員子息(11/3) 結婚  
それぞれ祝電を贈る
- 10月10日例会: 「職業奉仕月間」職場訪問 (株)ビジネスセンター  
 10月17日例会: 地区大会報告会  
 10月24日例会: 3RC合同例会18:30点鐘 於VIP  
 10月31日例会: 米山月間  
 11月7日例会: ローターリー財団月間  
 11月14日例会: 卓話 堀川パスト会長(11代)  
 11月21日例会: 夜例会19:00点鐘 於三条ロイヤルホテル



## 三条北ロータリークラブ週報

意識を喚起し  
進んで行動を

例会日  
2000. 10. 3  
累計 No 674  
当年 No 13

国際ロータリー会長 フランク J. デブリン 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会長/山崎 勲  
幹事/外山 晴一  
SAA/五十嵐 茂

例会日/火曜日 12:30~13:30  
 例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114  
 事務局/三条市西四日町3-15-34  
 ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

- 行事: 「ライラ研修報告会」ライラ委員長長谷川博一会員  
 研修生 金子雅俊君 押野見俊佑君
- 出席: 本日の出席 55名中 42名  
 先々週の出席率 55名中 54名 98.18% (前年同期88.46%)
- 先週のメークアップ: 9月27日 三条RCへ 佐藤啓策さん  
 29日~10月2日  
 ライラ研修参加(妙高)長谷川博一さん、西村 護さん  
 10月2日 三条南RCへ 中條耕二さん
- ビジター: 三条RCより 渡辺喜彦さん  
 会長挨拶: 山崎 勲



本日は三条RCより渡辺喜彦さん、ライラ研修生金子雅俊君、押野見俊佑君北クラブにおいていただきありがとうございました。

今日は三条商工会議所創立60周年記念式典及び祝賀会が行われます。60年前の商工会議所の活動がどうだったか定かではありませんが、その当時の商工会議所は旦那様の集まりで、恐らく商工会議所会員になるのは現在のロータリーに入会するより難しかったのではないのでしょうか、

第27回シドニー五輪が1日閉幕しました。オリンピックは運動競技の最高峰に位置づけられていて、実力とは掛け離れたドラマが展開されており、特に女子マラソンの高橋尚子選手の金は諸外国でも高い評価を受けていました。毎日のように日本のメディアではメダルラッシュなどと報道されており、日本オリンピック委員会会長は80点のできだったと言っていました。成績は金5、銀8、銅5の合計18個のメダルを獲得しただけです。しかもメダル獲得順位は15位と先回のオリンピックより活躍したと言っても私は本意の成績だと思っております。オリ

ンピックは参加することに意義があると言った方もありますが、やはり国民の代表として参加する以上もう少し頑張っておきたいと思っております。

昨日は外山幹事と赤い羽根共同募金で3時半から30分位長崎屋の出入り口で募金活動をしてきました。募金活動をしてみて、通る人の半分くらいは募金に協力していただいた事にびっくりしております。会社では割り当てが回ってきますので、その通り募金をしてしておりますが、私が街頭で募金に協力したのは成人してからは数回しかありません。赤い羽根、緑の羽など募金活動が行われているときは、ロータリアンとして積極的に募金活動に協力して行きたいものです。

30日は新潟県立月ヶ丘養護学校創立35周年記念行事に出席してきました。式典は10時から始まり、10時半には終わりましたが、その後入所児童の音楽会があり不自由の体ながら一生懸命に歌い無事10時20分には終わりました。月ヶ丘養護学校には入所者147名、職員数121名がおります。入所者は広く県内から集まり、三条市からの入所者は僅か28名です。入所者されている者は脳性麻痺、ダウン症候群、テンカン、心疾患、腎疾患、自閉的傾向、肢体不自由、アトピー体質、喘息、肥満、その他の疾患などで、特に多いのがテンカンの45人で家庭では看護しきれない子供たちが入所しています。問題のなのはここに入所してられる間はまだ何とかなっていますが、一定の年齢になると卒業しなければならない事です。卒業後はいろいろな施設もありますが、公共施設では収容しきれずに民間の施設に委託したりしていますが、完璧なものではありません。企業が軽作業などに雇ってくれているところも有りますが、職場内のトラブル、経営者の不正など不自由児に対する理解が不足しているのが現状です。ロータリーとしてどうすれば良いのか分かりませんが、皆で考えて見る価値は十分あると思います。北クラブの会員の中でも一時的に雇用された事業所もあると思いますので、そういう方から経験談などをお聞きする機会を作って見るのも良いのではないのでしょうか。

#### 幹事報告： 外山幹事

- ・吉田ガバナーより 公式訪問の礼状が届いています  
ポリオプラスパートナープログラム支援依頼について
- ・地区財団委員長より 11月財団月間及びスピーカー（学友会員）推薦について
- ・R I D2560地区R A Cより 第31回地区大会本登録の願について  
期日 平成12年11月11日（土）～12日（日）  
会場 国民年金健康センター（高田）
- ・三条市健全育成市民会議より  
小学生弁論大会（聞いてよ、私達の考え）メダル贈呈について（依頼）
- ・地区大会参加者の方に日程表を配布しましたので宜しくお願いします。

\* 芦田義重会員より

休会致しておりましたが今日より復帰させていただきますので宜しくお願いします。

ことは、必ず学ぶということです。日本に住んでいる以上、日本の政治や経済など日本について詳しく調べておく必要があると思いました。また同様に会社についても同じ事がいえると思えます。そうすればまた違った角度から物が見られるようになると思いました。この講習は私にとってプラスになることが多かった。例えば会社で「リーダー」になりたいと思ったら、リーダーとは何か？を考え調べ努力しなければと思いました。

自分の為になること、笑いあり、感激ありの3日間でした。また、この団体行動を行い人との付き合いがうまくなったような気がします。

このライラ研修で得た事、学んだ事を今後の生活に役立てて行きたいと思えます。

#### 研修生 押野見俊佑君

「日本の心」という講演は難しい内容でしたが聞いていると納得することもありました。抜刀道は面白かった。じっと話を聞いているより見ている方が良かった。日本刀の怖さが解り、いい体験でした。落語はつまらないというイメージがありましたが聞いてみると面白くつつい笑ってしまいました。話すことで笑わせる仕事だなんてすごくいいなと思う。2日目の研修はそれぞれ初めての経験でしたがみんな真剣で貴重な体験をしました。

全体を通してこの3日間は、日が経つにつれて楽しく感じた様に思えます。研修生同志友達もでき、貴重な体験をいくつもできて、良かったです。

あまり行きたくなかったこの研修も、1日がとても充実していて、とてもよい3日間を過ごしました。

#### 会員の声： 「オリンピックへの一私見」小島茂男会員

オリンピックへの一私見

民族対立が戦争の一大要因である事を考える時、オリンピックはナショナリズムを露骨に剥き出した選手達の激突の場であり、国威発揚の場と化している現実をみる時、其処に重大な危険が潜んでいる様に思える。「前畑ガンバレ、ガンバレ、……」で私達日本人に馴染み深いベルリンオリンピックは、ヒトラーがゲルマン民族の優越性とナチスドイツの国威を世界に誇示宣伝の場にし、ユダヤ人大虐殺、広島、長崎への原爆投下に象徴される残忍で悲惨な第二次大戦への序曲であった。1940年開催予定の東京オリンピックは戦争により幻の大会となるのである。終戦後は東西冷戦下、自由主義対社会主義のイデオロギー対立が、オリンピックの場にそのまま持ち込まれ、その優位性と国威発揚の為、米ソ及び東西ドイツの熾烈なメダル獲得競争が繰り広げられたのである。社会主義国は国を上げてメダル獲得に狂奔しステートアマの出現、その究極の姿として、基本的権を一顧だにしない薬物投与により創出されたと思われる異常に矮小化された猫科人間なる体操女子選手の出現に驚愕を越えた哀れみを覚えたのは私一人だろうか。旧ソ連のアフガン進攻に抗議し自主義国のモスクワ五輪ボイコット、ミュンヘンオリンピックでのイスラム過激派ゲリラのイスラエル選手宿舎襲撃、人種差別に抗議しアフリカ諸国のモントリオール五輪不参加等、オリンピックは、民族